

アラジール症候群（染色体異常）について

病 名	病気の症状や対応について	難病の団体・HP
アラジール症候群（染色体異常）	<p>◇ 症状</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 染色体 20 p 12 又は 1 p 13-p 11 の変異（欠損）が原因ではないかとされている。 ・ 肝機能・形態学的異常、特徴的な変貌、骨格系の異常、心血管系異常、眼科的異常の5つが主にあげられる。しかし、症状や重さには個人差がある。 <p>◇ 治療法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 慢性の胆汁うっ滞や成長障害に対して脂溶性ビタミンや中鎖脂肪酸(MCT)の補充など栄養療法を長期に継続する。痒みや高脂血症に対して陰イオン交換樹脂や脂質降下薬が使われる場合がある。胆汁うっ滞肝硬変に進行したり、痒みなどにより、著しくQOLが低下した場合には肝移植が行われる。重篤な疾患については外科手術が、腎不全については透析や腎移植が必要なことがある。 <p>（真翔のページ、アラジール症候群：HPより）</p>	<p>日本アラジール症候群の会</p> <p>http://www.alagille.info/</p>